



東京金山会通信

【問合せ】 東京金山会 広報担当 藤山 ☎080-5525-0435

No.81

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。今年が皆様にとって、健康と幸福に満ちた一年になりますよう、心からお祈りいたします。今後とも変わらぬご支援とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。



東京金山会
会長 高橋 和雄 さん

新年あけましておめでとうございます。令和8年は午年で、情熱とエネルギーが湧き、挑戦と飛躍の年と言われています。

東京金山会も、おかげさまで設立67年を迎えることができました。私自身も、中学校を卒業し、集団就職列車で上京してから67年が経ちます。新年を迎えるたびに、当時の上野駅に人があふれ、活気に満ちていた光景を思い出します。私もその中で懸命に働き、高度成長の波に乗っていたこと、挑戦する気持ちを燃やしていました。

今年が午年ですので、「うまれ変わる」一気持ちで、会員が減少しつつある状況を改善していきたいと考えています。新しい仲間との出会いを大切にしながら、会員をさらに増やしていけるよう、役員一同で知恵を出し合い、より魅力ある会をつくっていきます。

本年が皆様にとって、健康と幸福に満ちた一年になりますよう、心からお祈りいたします。今後とも変わらぬご支援とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

かね やま すぎ はい く かい 金山杉俳句会 第506回

若松を背けて背すじをシャーンとして
格子越し見やる景色の小雪舞う
阿部 一代

震きて竜馬の山容墨絵なり
朝日射す光に添ひて破魔矢かふ
星川 キエ子

行く秋を惜しむ気持の散歩道
秋深む素気無く友と擦れ違い
高橋 洋子

白壁を覆いて映えし葛もみじ
南天の朱玉艶増す困い柵
岸 昭子

祈る事多くなりしや木の葉髪
開ざされた医院の垣根冬薔薇
鶴沼 よし子

葉牡丹や心の翳り開く刻
冬木立風の行方を知らざりし
栗田 弥超

代表あいさつ

明けましておめでとうございます。町制200年に向かって令和8年の新しい年を清々しく迎えました。式典で歌われる金山町歌「とこみどり 杉山四方にめぐらして ひかり志津けき 水清き町」そして100周年記念楽曲「リゅう」若く新しい時代の町の歌といえるような気がします。この2つの歌をもとに私たちの町は健やかに明るく進んでゆきたいものです。

代表 阿部 一代 さん

こう ふう かい かねやま紅風会

友愛の別を惜しむ晩秋過
さりげなく生きたる幸せ返り花
荒屋 阿部 勝子

小春日や畑菜摘みいる庭の隅
古枯しの舞込む木の葉の吹だまり
村々も静かな眠りの十二月
荒屋 関 喜美子

身を包み足速急ぐ冬の道
葉を落とし風の寒さや山眠る
白鳥や鴨の仲間と野々村湖
菅越 庄司 けみ子

みちのくのふところ深き冬紅葉
物言を知る齢となりたる帰リ花
残月の寂しさつのる何ものぞ
七日町 青柳 キエ子

年暮れる一進一退針の山
寂しさや無心に願ふ師走空
手足揉むこの冬越せるか妻の顔
上台 阿部 一步

代表あいさつ

明けましておめでとうございます。金山町はめでたく町制施行101周年を迎えました。紅風会でお世話になった会員の皆さんや、今日まで紅風会の発展に尽くしてこられた先輩方に、心から感謝申し上げます。これまで培ってきた活動の歩みや想いを、しっかりと後輩や後世に引き継ぎ、さらなる発展につなげてまいります。

代表 阿部 一步 さん

図書室だより



◀新刊本情報はこちら

No.240

森の子ども図書



うまにんげん

作：板尾創路

ぼくの名前はケンタ。ある日、猛スピードで走ってきた子馬とぶつかった。気が付くと、「ん？ どうして？」ケンタも子馬も妙な姿に変身してしまった。最初は最悪だったけど…。俳優・映画監督・お笑いコンビでもある著者の不思議なお笑いの発想が愉快。

／ 今月のおすすめの2冊はこちら ／

にっぽんのクマ

山崎晃司／カンゼン

近年、ありとあらゆる所に出没するクマ。いつ遭遇してもおかしくありません。著書は日本のクマについて詳しく解説。ツキノワグマとヒグマの違いや行動、能力などを全てが記載されているため、クマ対策のお助けブックであること間違いなし！大人も子どもも読みやすい。

モノ思考

田嶋樹哩／かざひの文庫

金山町にゆかりのある著者、田嶋樹哩氏が「いつもの景色が傑作に変わる幸せの習慣」をテーマに著書の世界観で書かれている。退屈な毎日には7つの視点でアートのなる。不安定な時代を美しく生き抜く、新しい感性の育て方が書かれている。

関係人口の皆さんと力を合わせて金山PR！



◀Instagramはこちら



地域おこし協力隊 川村 佳恵

皆さん、こんにちは。金山町地域おこし協力隊の川村佳恵です。今回は、11月に東京都世田谷区・尾山台で開催した「山形金山市場」と、台湾での金山PRイベントについてご報告します。

11月16日、東京都世田谷区の「タタハウス」を中心に「山形金山市場」尾山台まるごと金山マルシェ」を開催しました。この企画は、今年度の8月・9月に行った関係人口スタディアールの成果発表の場として実施したものです。8月には東京都市大学の学生がビーナッツやにらを使った新スイーツ「ニラシフォン」(金山三山モンブラン)を開発。9月には首都圏在住の金山に興味を持つ社会人の皆さんが杉の端材を活用した木エアクセサリーなどを制作しました。

マルシェ当日は、ビーナッツ製品やつや姫、漬物、デカ玉こん、金山杉アクセサリーなどの物販のほか、芋煮やビーナッツご飯などの飲食も提供し、約300名が来場。「初めて金山を知った」「スキーに行ってみたい」「昨年も来て楽しかった」など、多くの嬉しい声をいただきました。その翌週には、台湾・台東市の本屋で開催された金山PRイベントに登壇しました。この本屋は「金山微住」に参加した台湾の皆さんが運営しており、イベントも彼らが主



▶11月16日東京でのマルシェ



▶11月22日台湾・台東でのイベント

体となって準備してくださいました。金山の動画上映やQ&Aを通じて交流が深まり、岸伝八菓子店さんのまんじゅうや美杉ちゃん人形も大変喜ばれました。今後も国内外の関係人口の皆さんと協力しながら、金山の魅力楽しく伝えていきたいと思っています。